としては、特許、特許未

ス、ブランド価値、顧客

製法、技術ライセン

データリスト、流通・販売

無形資産の評価対象例

取得の技術やノウハウ、

そ読み書きも何不自由な 流暢な日本語。今でと

その源泉となっている。

研究開発過程の製品や技

商·劉慕和 専任講師

産

発生時に費用として会計 は、研究開発費はすべて

一米国で問題となるの

る会計情報が見られない

。さらに

平成5 (199 慕和 (りゅう・む

会計論を担当。研究開 専任講師となり、管理

発費など無形資産の会

分かりづらい。研究開発

告書などを調査した。「償 社を対象に、有価証券報 ら情報を得られた628 東証一部上場企業の中か 医療品関係20社。

投資をどのように工夫し

て財務諸表に取り入れる

と、経済的価値がおよぶ 却を研究開発投資で見る 発の価値が外部の人には

たそうだ。会計学を研究 はちんぷんかんぷんだっ 来日して2年ほど

が好き。その中で日本は 米国へ留学する。 表情を崩した。 も日本を選んだ。「アジア テキストは英語。それで する台湾の学生は大半が 先進国だから」と言って、 大学の

産の評価に関して。企業 とか生産設備などの有形 されるかといえば、建物 固定資産より無形資産が の価値はどこから生み出

特

報

別

版

学

広

日

研究課題は「幕末明治 る研究」。日本の写真の歴

に始まり今に至っている史が始まった。

芸術·高橋則英 教授

その機材の復元に力を注

たが普及に至らず、この

板写真の出現が職業写

ばれる技術が入ってはい

(ダゲレオタイプ) と呼

それ以前にも銀板写真

ジオン湿板法)の再現と 呼ばれる写真技術(コロ 技術である、湿板写真と

初年における我が国の写

史は、写真が伝来してき た1848年 (嘉永元年)

る幕末、あるいは明治を

現を分けて考えてはいな

研究では技術と記録・表

いが、写真の初期の段階

板に沃(よう)化物や臭

写真史上、非常に重要な 至ったという、わが国

湿板写真とは、ガラス

明治中期まで実用

て初めて写真が実用化に 真家を誕生させ、そうし

が、特にその初期にあた

中心とした写真史を研究

している。

真技法の復元再生に関す

本

大

研究テーマは、 無形資

財務情報にも有用

チャイズ契約、人的資源 ウエア、著作権、フラン コンピューターのソフト ネットワーク、登録商標 価値や株価と密に関連し 企業のデータに当てはめ その分析モデルを日本の 米国での研究を考察して、 の評価についてである。 で最も重要な研究開発費 んでいるのが、無形資産 中で劉専任講師が取り組 などが挙げられる。 ていることを実証的に証 て研究。その価値は企業 その

株価などの関連も実証

発に対して多くの投資を 処理されている。研究開 しているのに、貸借対照 薬品産業を中心にした。

もし株価と相関関係が深 究開発投資という情報が に役立つことになる。研 主の投資の意思決定など 入れる。こうすれば、株 産として財務諸表に取り ければ、研究開発投資と 入った後の財務諸表が、

いう情報を投資家に開示

研究開発投資を一度資

逓減するスピードが非常 形資産と比べると価値が いう特徴が見られた。有 年で急速に価値が減ると 年だった。最初の2、3 期間が今回の調査では8

に速い。米国の医薬品産

研究開発費が最も多い医 することによって、財務 情報の有用性が高まる。 日本での研究対象は、 (同文舘出版) として出

劉ゼミ」もスタート

留学した東北大学で田

の助手への道が開けた。 ていた。その関係で本学

年間、本学商学部で教え 中教授は平成7年から4 温泉ブームです。 たまに日本に来ますよ」 両親は

管理会計を受講する学 るきっかけとなった。田 ったのが、この研究に入 大学経営学部長)と出会 中隆雄教授(現青山学院 かい。 たり、温泉に行ったりし ています。台湾では今、 日本では周りの 暇な時は映画を見 人が温

年3月に「研究開発投資

た」。こうした研究は、昨 業もほぼ同じ傾向だっ

の会計処理と市場の評価」

れ。 35歳。

属。台湾台北市生ま 計算研究学会などに所 理会計学会、日本原価

研究室でゼミ生の土屋隆幸君と貝塚小百合さん(ともに2年生)を指導する劉専任講師

手を経て17年4月から 博士)。本学商学部助 東北大学大 日。同14年 会計学科卒業。8年来 計処理を研究。日本会 3) 年台湾·東呉大学 学院経済学研究科博士 後期課程修了(経営学

プロフィル

計研究学 会、日本管

生は250人。今年度か 無形資産の情報は、今ま ーマなのである。 行った。 究者も少ない。さらに、 て盛んになった。日本で には軽井沢でゼミ合宿を はこれからの分野で、研 でも1990年代に入っ 会計士を目指す。この夏 に入っている。それをど ゼミ生の多くは税理士や 無形資産の研究は米国 「劉ゼミ」がスタート、 での財務会計基準だとほ のようにして財務諸表の の米国でもそこまではい きな課題である。先進国 開示するかは、今後の大 とんど開示できない価値 っていない。 中に取り入れて利用者に やりがいのある研究テ

熊本県伝統工芸館で、復元製作中の携帯暗室を

の際に使ったといわれる

卒。61年同学部助手と ージアム作品収集委員

野彦馬が西南戦争の撮影

年芸術学部写真学科 し・のりひで)昭和53

理事、川崎市市民ミュ

そのままに復元すること

不組みから金具まで当時 オリジナルをモデルに、

2年専任講 なり、平成

プロフィル

門)、東京都

(写真部

を目指している。

11月にシンポ

開催

写真史及び写真の保 群馬県出身。52歳。

から教授。研究領域は

議委員などを務める。

師、8年助教授、14年 写真美術館企画諮問会

日本最初の職業写真家・上

るというもの。長崎歴史

文化博物館が所蔵する、

則英(たかは

存。日本写真学会理

事、日本写真芸術学会

調べる高橋教授

いて写真にすることに価 時と同じような方法を用 当時の技術を再現し、当 るだけではなく、実際に て、文献類を発掘調査す この湿板の技術につい その際、 とを可能にする。 とで、実際の技術がどう 手がけているのが携帯暗 いところまで検証するこ のと同じものを用いるこ いうものだったか、細か や道具も当時使っていた もう一つ、数年前から

出来る箱で、台の上に寝 室の再現。トランクの ると本体が流しとしての かせて蓋側を直角に立て をした木製の持ち運びの ってある暗幕を頭からす 機能を果たし、中にしま 形

ぼりかぶると暗室にな の道具、カメラなど貴重 んの古い写真や温板写真 な品々が残されて

雲をはじめとするたくさ とは、まだまだはっきり には、夏目漱石や小泉八 ている熊本の冨重写真館 の開業で今も営業を続け 1866年 (慶応2年) 面へ、現地調査でよく足 る長崎、熊本など九州方 を運んでいる。例えば、 こうした古い資料が残 おり、 ってきたころの細かいこ 訪れる機会は多い。今年 していないことが多い。 いえ、写真がわが国に入 ジウムも計画している。 周年にあたるのを機に、 が同写真館の開業140 そうした歴史の穴を埋め ていく必要性も感じてい 11月初旬に現地でシンポ 研究が進んでいるとは ない。「わが国の写真の歴 写真をこれほどまで発展 して、また産業として、 る。写真技術の導入後、 史は長く、築き上げてき では日本以外に見当たら させてきた国はアジア圏 記録や表現のメディアと 奥深さを持っている」と たものも多い。それだけ に、写真は研究に値する

高橋教授の左手前にある装置が、復元されたキャ どめるために写真が発明 それが生み出す映像をと



う違いがある。歴史的に は記録と表現にあるとい

はカメラの原形(カメラ

対象になってくることが

ので、勢い技術的な面が が写る」というレベルな ではまだ「ようやく写真

多い。この初期の写真技

分で作って写真を撮る技 るものを撮影者自身が自 今日のフィルムに相当す いう薬品を塗るなどして、 化物を含むコロジオンと

術の検証及び写真家の事

歴の調査研究を行ってお

明治20年ごろまで使われ

値がある。

わが国最初の実用的

明以前から使われており、 オブスクラ)は写真の発

そこから写真の歴

性がメカニズムにあると

製携帯暗室復元も

出来事である。

再現から

がちだが、「カメラ」の属

メラと同義語に解釈され

一般に写真というとカ

するなら、「写真」のそれ

(湿板写真用硝酸銀器)